



第 89 号

発行人
(一財) 福井県剣道連盟
会長 岩崎 貞夫

事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp



ご挨拶

一般財団法人福井県剣道連盟

会長 岩崎 貞夫

平成二十八年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

いよいよ「福井しあわせ元気国体」が二年後に迫ってまいりました。昨年七月の日本体育協会理事會において、福井国体が平成三十年九月二十九日から十月九日の十一日間の会期で開催されること、正式に決定しました。そのうち、剣道競技は、九月三十日から十月二日の三日間、福井県立武道館で行われます。

福井国体に向けた選手強化については、スパーアドバイザーの佐藤成明先生、成年強化コーチの高橋俊昭先生、少年強化コーチの神崎浩先生にご指導をいただき、強化・選考部会の委員の皆様が中心となって、成年選手、少年選手の競技力向上を精力的に進めています。

昨年の和歌山国体では、成年男子が平成八年広島国体の五位入賞以来の初戦勝利を収めました。二回戦で惜しくも破れました。成年女子は北信越国体で

優勝し本国体に出場したものの残念ながら一回戦敗退、少年種別は北信越国体で男子が二位、女子が三位とともに本国体に出場なりません。本県の一年前に国体を開催する愛媛県は、

成年男子、成年女子がともに二位、少年女子が三位、総合成績でも開催県の和歌山県に次ぐ二位と目覚ましい活躍を見せています。本県としても福井国体での剣道総合優勝を目指し、技術面に加え、精神面の強化も進め、選手、指導者をはじめ、当連盟の関係者が一丸となって取り組んでまいりたいと思えます。

また、昨年は、十一月に東京で行われた剣道八段審査会において、坂井地区剣道連盟の岩本卓也先生が、見事八段に昇段されました。本県で四人目となる八段合格者の誕生は、本県剣道界にとって一層の活性化につながるものであり、当連盟会員の方々にとっても大きな励みとなる誠に喜ばしいことでもあります。

先生の今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

今年は、福井国体の運営についても、国体準備部会を中心に具体的な準備に入る必要があると考えています。福井国体に必要となる資金の確保のため、平成二十五年度から「特別協力資金」として当連盟会員の皆様にご支援をいただいておりますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

今後、本県における剣道の普及発展に向け、力強く前進してまいりたいと思えます。

本年が皆様にとって充実した幸せな一年となりますことをお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



大会報告行事報告

第37回北信越中学校総合競技大会 剣道競技

平成二十七年八月六日(木) 於 福井県立武道館 井県立武道館において第37回北信越中学校総合競技大会剣道競技が行われました。結果は以下の通りです。

男子団体

- 予選Aリーグ 鯖江 1-0 〇丘 (長野) 鯖江 3-0 〇川 北(石川) 鯖江 1-3 〇山 室(富山) 予選2位通過

- 予選Bリーグ 藤島 0-2 〇松 代(長野) 藤島 3-2 〇新潟第一(新潟) 藤島 1-4 〇宇ノ気(石川) 予選3位敗退

- 予選Cリーグ 明道 2-1 〇中能登(石川) 明道 2-2 〇富山大学附属(富山) 明道 2-1 〇小池(新潟) 予選1位通過

- 予選Dリーグ 明倫 1-2 〇小針(新潟) 明倫 1-4 〇奥田(富山)

明倫 〇 2-0 〇佐久長聖(長野) 予選3位敗退

決勝トーナメント1回戦(準々決勝) 鯖江 〇 2-1 〇明道

決勝トーナメント2回戦(準決勝) 鯖江 〇 1-1 〇小針(新潟) ※本数負け

優勝 山室中(富山) 次勝 小針中(新潟) 3位 宇ノ気中(石川) 3位 鯖江中

女子団体

- 予選Aリーグ 松陵 〇 1-1 〇羽咋(石川) 松陵 〇 3-0 〇内野(新潟) 松陵 〇 3-2 〇大門(富山) 予選1位通過

- 予選Bリーグ ※羽咋中との代表決定戦勝利 中央 〇 1-4 〇宇ノ気(石川) 中央 〇 1-1 〇下條(長野) ※本数負け

- 中央 〇 1-0 〇中之島(新潟) 予選2位通過 予選Cリーグ 三方 〇 0-1 〇燕(新潟) 三方 〇 4-0 〇奥田(富山) 三方 〇 3-1 〇浅間(長野) 予選2位通過

- 予選Dリーグ

今庄 〇 0-3 〇柳町(長野) 今庄 〇 0-3 〇山室(富山) 今庄 〇 0-4 〇中能登(石川) 予選4位敗退

決勝トーナメント1回戦(準々決勝) 三方 〇 3-1 〇宇ノ気(石川) 松陵 〇 5-0 〇中央

決勝トーナメント2回戦(準決勝) 三方 〇 0-3 〇羽咋(石川) 松陵 〇 2-2 〇燕(新潟) ※代表戦敗退

優勝 燕中(新潟) 3位 羽咋中(石川) 3位 松陵中 3位 三方中

男子個人戦

- 1回戦 加藤(中央) 〇 〇樋浦(小池:新) 重盛(鯖江) 〇 〇北澤(松代:長) 北(明道) 〇 〇石田(宇ノ気:石) 小嶋(鯖江) 〇 〇メメ 〇武田(井波:富) 八幡(藤島) 〇 〇西川(津幡:石) 坂本(丸岡) 〇 〇ココ 〇大久保田(松代:長) 中野(明道) 〇 〇メメ 〇大久保(魚津東部:富)

- 市原(気比) 〇 〇皆川(松浜:新) 2回戦 重盛 〇 〇武藤(新津第二:新) 北 〇 〇メコ 〇石坂(更埴西:長) 小嶋 〇 〇メ 〇岡本(小針:新) 坂本 〇 〇ド 〇澤田(山室:富) 3回戦 北 〇 〇メコ 〇小嶋

- 準決勝 小嶋 〇 〇メコ 〇樋浦(小池:新) 一位 樋浦雄也(小池:新潟) 二位 須田友紀(白根第一:新潟) 三位 小嶋耀介(鯖江:福井) 三位 横田寛大(松代:長野) 五位 北 幹貴(明道:福井)

- 〇女子個人戦 1回戦 久保(三方) 〇 〇中(星陵:石) 田辺(三方) 〇 〇ド 〇平(鼎:長) 川島(三方) 〇 〇中村(燕:新) 堤腰(松陵) 〇 〇メ 〇大家(魚津東部:富) 久保田(三方) 〇 〇メ 〇相場(燕:新) 山川(松陵) 〇 〇メ 〇樋口(長野北部:長) 池田(三方) 〇 〇メ

△松川 (井波：富)
貢 (今庄) △ |

ド○細井 (宇ノ氣：石)

2 回戦

田辺○メ | △丸山 (燕：新)

堤腰○メ | △新井 (浅間：長)

山川○メ | △杉本 (山室：富)

池田○メ | △朝山 (下條：長)

3 回戦

田辺△ | ド○中 (星陵：石)

堤腰○コ | △中村 (燕：新)

山川△ | メ○相場 (燕：新)

準決勝

堤腰○メ | △中 (星陵：石)

池田△ | メ○相場 (燕：新)

決勝

堤腰△ | コ○相場 (燕：新)

一位 相場 葵 (燕：新潟)

二位 堤腰 琴菜 (松陵：福井)

三位 池田 二千花 (三方：福井)

四位 中生 吹 (星陵：石川)

五位 山川 咲愛 (松陵：福井)

五位 田辺 有羽 (三方：福井)

第57回全国教職員剣道大会

平成二十七年八月九日(日)
於 京都市ハンナリーズアリーナ

個人戦

女子の部

伊藤 藍子 (啓新高校)

●一回戦 | メ 本部世梨華 (沖縄)

高・大・教委の部

和中 律英 (福井東特別支援学校)

●一回戦 | メ 松澤孝憲 (栃木)

幼・義務教育の部

山田 英典 (今庄中学校)

●一回戦 | メ メ 井村亮祐 (広島)

団体戦 二回戦進出

久保田広行 (丹南高校)

三井 清喜 (丸岡南中学校)

西川 航平 (美方高校)

中村 英紀 (氣比中学校)

瀧口 正之 (大東中学校)

●一回戦 福井 | 山形

先鋒 久保田 × 山口 祥吾

次鋒 三井 × 齋藤 曜介

中堅 西川 × 遠藤 剛



副将 中村 × 佐藤 和之
大将 瀧口 × 松井 寿
代表 久保田 | メ 山口 祥吾

第45回全国中学校剣道大会

平成二十七年八月二十二(土)

八月二十二日～二十四日(月)

於 秋田県立武道館

秋田県立武道館において、第45回全

国中学校剣道大会が行われました。

結果は以下の通りです。

男子個人

一回戦

小嶋 耀介(鯖江) △ |

メ○小川 大輝(関：東京)

中野 陽登(明道) ○メ |

△鶴原 哲也(出雲三：島根)

二回戦

中野 陽登(明道) ○メ |

△上 健士郎(伊集院：鹿児島)

三回戦

中野 陽登(明道) △ |

コ○木村 弘人(山王：秋田)

一位 重黒木祐介(潮田：神奈川)

二位 阿部 壮己(加古川：兵庫)

三位 木村 弘人(山王：秋田)

三位 片山 峻輔(今治南：愛媛)

女子個人

一回戦

堤腰 琴菜(松陵) ○メ |

△齊藤 芽衣(秋大附：秋田)

池田 二千花(三方) △ |

コ○星野真由子(土崎：秋田)

二回戦

堤腰 琴菜(松陵) △ |

コ○秋山 遥奈(高松：岡山)

一位 妹尾 舞香(玄洋：福岡)

二位 柿元 冴月(那珂川北：福岡)

三位 津守 葵衣(大分：大分)

三位 渡邊 茜(勝山：愛媛)

男子団体

予選

鯖江中 ○3 / 2 |

0 / 0 △上山中(沖縄)

鯖江中 △3 / 1 |

3 / 2 ○大和中(岐阜)

予選2位敗退

優勝 九州学院中学校(熊本)

次勝 潮田中学校(神奈川)

三位 東京学館浦安中学校(千葉)

三位 関中学校(東京)

女子団体

予選

松陵中 ○4 / 2 |

1 / 1 △三ヶ所中(宮崎)

松陵中 □3 / 1 |

3 / 1 □玉穂中(山梨)

予選1位通過

決勝トーナメント1回戦

松陵中Δ1/0

5/4 ○磐田一中(静岡)

優勝 都田中学校(神奈川)

次勝 燕中学校(新潟)

三位 住吉台一中学校(大阪)

三位 三瀬中学校(佐賀)

第36回北信越国民体育大会

平成二十七年八月二十三日(日)

於 富山市総合体育館

成年女子の部は先鋒に伊藤藍子選手(啓新高校教員)、次鋒に細川梨絵選手(日本体育大学職員)、大将に森宜子選手(森齒科医院)が出場しました。初戦の相手である長野県は、近年女子の強化に力を入れており、全国都道府県対抗大会では平成二三年に三位、翌年も八強に入っています。北信越国体でも毎年本県とは僅差の戦いとなっており、昨年は本県が敗れたものの、勝率で上回って一位通過したという経緯もあって、選手・関係者一同、この初戦が最大のヤマ場とみて本番に臨みました。伊藤選手は、昨年全勝している力のある相手に対し、激しい気迫で攻め立てて技を封じ込めて勝ちを収めました。続く細川選手が敗れたものの、森選手が鮮やかに二本勝して初戦を乗り切りました。これで勢いづいた

本県は、その後の三試合で伊藤選手、細川選手がともにすべて勝って危なげなく優勝を果たしました。北信越国体における本県成年女子は、ここ十年で優勝七回を数えることになりました。今後は福井国体に向け、全国の表彰台の常連となるよう強化に励みたいところです。

(記 柳原潤一郎)

平成三十年福井国体に向けて全国での入賞を掲げ、例年以上に強化を行い北信越ブロック予選に臨みました。

少年男子は一試合目に優勝候補の石川県を粘り強い試合で撃破し、勢いに乗りました。しかし、新潟県との全勝同士の対決で先鋒が先取するも負け、次鋒も勝利を収めましたが、後が続かず痛い一敗を喫しました。結果は新潟が全勝で優勝、福井県は二位という結果になりました。

少年女子は北信越では圧倒的な力を持つ新潟を超えるため、様々な対策を考え挑みました。二勝同士で迎えた新潟戦、対策をしていた鏝競り合いや中間からの引き技を次々に決められ敗退しました。結果は石川県と三勝一敗で並び三位という結果に終わりました。

男女とも後一步というところで本国体を逃しました。

今回の大会や全国大会を見て、福井県選手の体格や体力など基礎的な部分での見劣りを感じました。来年度ジュニアアスリートが高校に入學してきますが、剣道の技術、精神力はもちろんのこと基礎的な体力の向上にも力を入れていきたいと思いません。

(記 岩谷治彦)

○試合結果

(成年女子)

- 一位 福井県 四勝
- 二位 長野県 三勝一敗
- 三位 新潟県 二勝二敗
- 四位 富山県 一勝三敗
- 五位 石川県 ○勝四敗

成年女子福井県チーム

- 監督 道内由佳里(金井学園)
- 先鋒 伊藤 藍子(啓新高校教員)
- 中堅 細川 梨絵(日本体育大学職員)
- 大将 森 宜子(森齒科医院)

(少年男子)

- 一位 新潟県 四勝
- 二位 福井県 三勝一敗
- 三位 富山県 一勝三敗
- 四位 石川県 一勝三敗
- 五位 長野県 一勝三敗

少年男子福井県チーム

- 監督 大辻 俊裕(高志高校教員)
- 先鋒 吉川 泰平(工大福井高校)
- 次鋒 小荒 浩夢(敦賀高校)
- 中堅 岡田悠貴彦(高志高校)
- 副将 村上 幹(啓新高校)
- 大将 馬淵 稜也(敦賀高校)

(少年女子)

- 一位 新潟県 四勝
 - 二位 石川県 三勝一敗
 - 三位 福井県 三勝一敗
 - 四位 長野県 一勝三敗
 - 五位 富山県 ○勝四敗
- 少年女子福井県チーム
- 監督 岩谷 治彦(敦賀高校教員)
 - 先鋒 中山 知実(美方高校)
 - 次鋒 木村 顕子(敦賀高校)
 - 中堅 鈴木里香子(敦賀高校)
 - 副将 井上 瑞菜(美方高校)
 - 大将 光原 智晶(敦賀高校)



第44回福井県少年少女剣道錬成武生大会

平成27年 8月23日(日) 於 越前市体育館

団体試合成績

優勝	鯖江剣道スポーツ少年団
次勝	敦賀市剣道スポーツ少年団
三位	今立剣道スポーツ少年団
三位	越前少年剣道クラブ

男子個人試合成績表

	優 勝	次 勝	三 位	三 位
4年生以下 A	吉村 泰一 福井少剣少	野尻 晃矢 鯖江少剣少	中村 颯太 王子保ス少剣	坂元 煌 神山少剣少
4年生以下 B	守 大翔 鯖江少剣少	藤井 真乗 神山少剣少	蓑輪 達灯 河和田剣友会	寛 翔太郎 養正館
4年生以下 C	三船胡太郎 五常館	松岡 輝 松岡少剣教	西村 壮優 丸岡少剣少	植田 樹紀 新風館
4年生以下 D	三原 大和 織田少剣少	宮嶋 凜太 武道学園剣教	金道 友輝 立待ス少剣	丹後 元太 吉野少剣少
5年生 A	城田 海響 鯖江少剣少	藤井 大暉 立待ス少剣	三原 瑚白 織田少剣少	
5年生 B	川端 洗成 大野剣教	坪田花七路 春江少剣教	斎藤 大晟 鯖江少剣少	前田 陸人 森田少剣教
6年生	秦 昌輝 志比剣少	小石川拓真 豊剣教	河野 圭音 志比剣少	小林 大芽 栗野剣教

女子個人試合成績表

4年生以下 A	西山 実咲 志士樹館	山田 優生 今立剣少	重永 花歩 福井少剣少	遠藤 晃 丸岡少剣少
4年生以下 B	杉原 歩佳 志士樹館	後藤 里胡 養正館	南元 優芽 向笠剣少	林 志穂 丸岡少剣少
5年生	中村 光来 武道学園剣教	藤井 奏香 王子保ス少剣	河原奈那美 向笠剣少	杉本 真生 春江少剣教
6年生	宇野 光咲 松岡少剣教	網田 恭子 南条剣少	前田 凜 武道学園剣教	大谷陽優未 武道学園剣教

第54回全日本女子剣道選手権大会

平成二十七年九月十三日(日)

於 兵庫県立武道館

私にとって全日本女子剣道選手権大会とは、永遠の挑戦の場です。今年、自身二度目となる今大会に出場できまず感じたことは、やっと全日本に挑む環境に戻ってこられたことへの喜びと、支えて下さる多くの方々への感謝の気持ちでした。初出場、ただ高校生の時は、その雰囲気になんたただ圧倒されるばかりでしたが、今年はずいぶん違いました。学生時代鎧を削つ

てきた同世代や後輩はもちろん、六年前はただ憧ればかりだった選手も勝たなければならぬ相手として私の目には映りました。

一回戦は中学時代、幾度となく戦った燕中学校のコーチをさせて頂いた森脇選手でした。お話をさせて頂いたのは今回が初めてでしたが、森脇選手も私も当時を懐かしむように剣を交えることができ、縁の大切さを改めて教えて頂いたように感じます。二回戦では、今年の世界選手権では団体の大将を務め、学生時代いつも国士館大と鎧を削ってきた法政大

出身の松本選手です。当時ライバルチームとして剣を交えた相手と、こうしてお互い社会人になり全日本という舞台で戦えるというのは何より素敵なことだと思います。結果は松本選手に敗退しましたが、心から楽しい時間でした。またリベンジしたいと思います。

今年の全日本女子剣道選手権大会を終えて、まだまだ勝負への準備ができるというのが正直な気持ちです。一回一回のチャンスをしっかりと掴みきる為の準備を、日々積み重ねていきます。そして支えてくださった多くの方々に、活躍という形で恩返しをしていきたいです。

伊藤 藍子

第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

平成二十七年九月二十日(日)

於 大阪市舞洲アリーナ

(小学生の部)

去る本年九月二十日(日)大阪市舞洲アリーナ(府民共済スーパリアリーナ)において、第十回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会が開催され、本県から「小学生の部」が出場した。

小学生の部では、本年七月二十日(祝日・月)福井県立武道館小剣道

場において、第三次福井県選抜選手選考会を開催し、その結果、第一位奥村龍也(福井養正館)、第二位大和泰雅(福井養正館)、第三位徳橋知輝(木田剣道)、第四位植村啓吾(木田剣道)、第五位塚田悠(鯖江志士樹館道場)(五名の内、四名が昨年に引き続き選考される。)選手が、本大会に出場することとなった。

本年度の目標として、前年度を経験している選手が多数いることから、各選手の技能力の向上及び精神面の強化を図るとともに、他県選抜チームとの合宿、錬成会及び各大会に出場し、チームワークで勝利を掴むこととの大切さを目標に掲げ、鯖江志士樹館道場及び福井養正館の各練習会場を借用し、同道場の選手とともに稽古し、短期間で三十数回の稽古会を重ねた。弱音を吐く選手もなく、指導者、選手及び保護者が一丸となつて、互いに励まし合い、一所懸命稽古した結果、本大会において、三年連続ベスト十六に進出することが出来た。試合内容として、決勝リーグにおいては、強豪の鹿児島県と対戦し、大将の大和選手が、得意技を連打し面を先取した後、残り時間数秒の時、鹿児島県塚田選手に対して胴を打ち込むと同時に、観客からも「オー」と大きな観声が上がりましたが、残念ながら有効打突とはなら

ず、惜しくも本数が及びませんでした。年を増すごとに、強豪チームと肩を並べる選手が育っていることに対して、堤腰一昭先生、塚田直人先生方を始め、選手を支えていただいた関係者の皆様方のご尽力に、深く感謝申し上げます。

試合結果については、次のとおりです。

(記 船田久三郎)



予選リーグ			
福井県	2	0	徳島県
先鋒 植村⊗	—		小山田
次鋒 塚田⊗	×		メ河野
中堅 奥村	×		岡崎
副将 徳橋⊗	—		宮田
大将 大和	×		塚田
福井県	3	0	北海道
先鋒 植村	×		南
次鋒 塚田	×		小野
中堅 奥村⊗メ	—		高橋
副将 徳橋⊗コ	—		伊藤
大将 大和⊗	—		山内

決勝リーグ

福井県	1	1	鹿児島県
先鋒 植村	×		美戸
次鋒 塚田	—		メ井上
中堅 奥村⊗	×		コ川崎
副将 徳橋	×		猪原
大将 大和⊗	—		肥後

(中学生の部)

今回の大会は、平成三十年に高校三年生となる、いわゆる「国体エイジ」と呼ばれる選手での出場となった。候補となった選手はどの選手も実力が接近しており、これまでの実績やポジションでの働きを考慮して選出した。

先鋒 池田二千花 (三方中)	
次鋒 堤腰 琴菜 (松陵中)	
中堅 小嶋 耀介 (鯖江中)	
副将 橋本 恭佑 (丸岡中)	
大将 坂本 一晃 (丸岡中)	

前3人は、北信越大会、全中大会でも安定した力を発揮していたため、前半で勝負する作戦を立てて臨んだ。予選リーグは、二年後に国体を控えた岩手県と鳥取県と対戦した。岩手県戦では、手数では相手を上回ったが、焦って出るところを捉えられ、0-4で敗れた。鳥取県戦では、落ち着いて試合を運ぶ展開となり、1-1出迎えた大將戦では、坂本が渾身の一撃を放ち

2-1で勝利した。

目標としていた表彰台には届かなかつたけれども、今回の経験を糧にして選手達には大きく成長してほしいと願っています。また私たち指導者も、全国で勝ち上がる選手、チームを作るために研究と努力を積み重ねなければならぬと強く感じました。



今後も指導者と生徒、保護者が一丸となつて福井県全体のレベルアップに努めたいと思います。ご協力いただきました関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。また、福井県チームの更なる成長に向けて、今後も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

(記 小辻淳二)

地方青少年剣道錬成大会

平成二十七年九月十九日〜二十日 於 福井県立武道館大道場 (中央派遣講師)

加藤 浩二先生 範士八段
福本 滋彦先生 教士八段

長谷川弘一先生 教士八段 (地元講師)

森岡 裕一先生 教士七段

遠藤 正宏先生 錬士七段
日本武道館等の主催により、県内の中学生を対象に、剣道の正しい理念と技能を習得することを旨とし、みだしの講習会を二日間に渡り開催しました。三名の中央派遣講師、並びに二人の地元講師の先生方には普段忘れがちな基本から応用まで丁寧に指導いただきました。また、県内各地から集った四百十五人の中学生は熱心に受講する姿が見られました。

【感想：松陵中学校 田崎健斗】
今回の講習会とおして学んだことが三つあります。
一つ目は、丹田に力を入れて生活をするということです。剣道において丹田を意識することが重要なことだとは知っていましたが、正座をするときにも大切だとは知りませんでした。体勢を崩さずに正座をするのが美しい日本の伝統であり、そのためには丹田に力を入れることが大切だということを教わったので、毎日の稽古のときに気をつけています。また、普段の学校生活や遊びのなかでも丹田に力を入れておくことでトレーニングになると聞いたので、早速実践しています。

二つ目は、水入りまで中心をとる

ということですが。中心をしつかりとれば、面を打つていっても小手を打たれないし、幹のある面を打つことができます。

三つ目は、残心です。練習中でも残心を示すことを怠っていると、試合でもつなぎのない、単調な剣道になってしまいます。

この三つはすべて基本ですが、その基本が今回の講習会を通して一番大事だと思いました。

先生がメニューについて説明されるとき、僕は見本となりましたが、打突部分を強くとらえてはいませんでした。そのとき、加藤先生に「たとえやり方を説明しているときでも、一本になる打ち方をしろ。」と言われました。いついかなるときも真剣勝負のつもりで取り組まなければならぬのだと強く思いました。

福本先生からは、楽しむことによって剣道は上達すると言われま



たいと思います。長谷川先生からは、秘伝と言つてもいいくらい、試合で使える技術をたくさん教わりました。これからは、先生方に教えていただいたことをしっかりと肝に銘じて、さらなる自己の修養に努めたいと思います。

第63回福井県剣道大会

一般男女の部

平成二十七年九月二十三日(水・祝)

中学生の部

平成二十七年九月二十六日(土)

於 福井県立武道館

「第六十三回福井県剣道大会」は、九月二十三日に一般男女の部、九月二十六日に中学生の部が、県立武道館において開催されました。

一般男女の部には、男子三千三チーム、女子十三チーム 計二〇四名が参加、中学生の部には、男子五十九チーム、女子二十六チーム 計四十二名が参加し、熱戦を繰り広げました。

また、二十三日の開会式では、福井県剣道連盟の発展に功績のあった三名の個人に功労賞が、全国大会・ブロック大会において優秀な成績を収めた選手に優秀選手賞が贈られました。

【功労賞】

- 佐藤 孝 (敦賀市剣道連盟)
- 谷崎 功 (南条地区剣道連盟)
- 高倉 浩一 (坂井地区剣道連盟)

【優秀選手賞】

(第三十六回北信越国民体育大会 成年女子の部 優勝)

- 森 宜子
- 細川 梨絵
- 伊藤 藍子

試合結果

- 中学校男子の部
 - 優勝 鯖江中学校Aチーム(鯖江市)
 - 第二位 中央中学校Aチーム(鯖江市)
 - 第三位 栗野中学校Aチーム(敦賀市)
- 中学校女子の部
 - 優勝 三方中学校Aチーム(若狭町)
 - 第二位 森田中学校(福井市)
 - 第三位 武生第六中学校(越前市)
- 一般男子の部
 - 優勝 福井県警察本部機動隊
 - 第二位 福井刑務所A
 - 第三位 福井工業大学B
- 一般女子の部
 - 優勝 福井県学校剣道連盟
 - 第二位 福井工業大学A
 - 第三位 坂井地区剣道連盟A

居合道中央講習会の伝達講習会開催

平成二十七年九月二十七日(日)

於 越前市武道館剣道場
第四十二回居合道中央講習会が、九月五〜六日に京都市で開催され、当連盟から玉村七段と高橋五段が受講しました。

それを受けて伝達講習会が開催され、十六名が参加しました。午前九時から開会式があり、引き続き全日本剣道連盟居合実技の講習が始まりました。試合や段審査での着眼点を中心に、玉村七段が技のポイント・体の使い方や心構えなどを解説し、高橋五段がモデルになって演武した後、受講者が三名ずつ実技を行いました。午前中に六本目まで、午後三時まで十二本目まで実技講習が終わり、最後に審判講習となりました。

模擬試合の選手二名を前に、審判員席を設け、宣告の発声、審判旗の操作、審判交代の作法など実習しました。

今回は、選手が怪我をした時の対処法や、合議の方法、計時係の旗の操作など



細かく実習しました。午後四時までに全日程が終了し閉会しました。

第38回全国スポーツ少年団 剣道交流大会福井県予選会

平成二十七年十月四日(日)

於 坂井中学校体育館
清秋の候、坂井地区に於いて県内随所より少年剣道団員、中学校(少年剣道OB)の部員たちにより、四つの試合場で熱戦が繰り広げられました。

これから無限に成長していく少年剣士達と、少し見えない間に心身、技ともに成長をみせてくれた少年剣道OB中学生達の活躍を嬉しく思えた大会になりました。

大会結果

- 小学生団体予選の部
 - 優勝 鯖江スポーツ少年団
 - 第二位 松岡スポーツ少年団
 - 第三位 王子保スポーツ少年団
 - 第三位 丸岡スポーツ少年団
- 小学生団体交流の部
 - 優勝 木田スポーツ少年団
 - 第二位 今立スポーツ少年団
 - 第三位 高浜スポーツ少年団
 - 第三位 鯖江スポーツ少年団

中学生男子個人の部
優勝 北島 正貴
(吉川スポーツ少年団)

第二位 西澤 朋希
(豊スポーツ少年団)

中学生女子個人の部
優勝 勝 池田二千花
(向笠スポーツ少年団)

第二位 吉田 花生
(吉川スポーツ少年団)

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体

平成二十七年十月三日(土) 四日(日)

於 那智勝浦町体育文化会館(和歌山県)
成年女子の初戦は、昨年と同じく東京都との対戦でした。いずれも警視庁所属の選手で、実績・実力ともに十分の相手ですが、本県選手は何かこれを打ち破ろうと強化練習を重ねて本番に挑みました。本県選手はいずれも構えや体捌きがしっかりしており、相手も簡単には出てこない状況で、緊迫した攻防が続きました。しかしながらつばぜり合いで一瞬の隙を捉えられたり、不十分な技であっても打ち切る手の内の作用や冴え、打突時の姿勢等で相手が上回り、結果は残念ながら三対0で敗

戦となりました。

成年男子は初戦の静岡県との戦いで先鋒金子選手(県警)、次鋒鈴木選手(県警)がともに一本勝して流れを呼び込みました。中堅畑選手(福井テレビ)は先に先取しました(二本返され、副将堀江選手(県警)も鋭い技を繰り出すものの、相手の変則的な攻めに敗れ同点とされます。大将西川選手(県立武道館)は相手が突きに来たところを面に返して先制し、更に引き面を追加して勝負を決めました。続く高知県との二回戦は、慎重になりすぎたためか先鋒、次鋒が二本負けとなり勢いに乗れず、結局0対4で敗戦となりました。男子の初戦突破は、平成8年広島国体の五位入賞以来一九年ぶりのこととなります。

試合後、本県アドバイザーの高橋俊昭先生より「一本の大切さをかみしめること」「どんな場面でも姿勢を崩さないこと」「力を付けるには稽古しかない」「どんだん外に出て回数を重ねるしかない」等の指導を頂きました。次年度開催地の岩手県や再来年の愛媛県は今国体でもともに入賞得点を獲得し、目に見える成果を出しています。三年後の総合優勝に向け、県内の剣道関係者が一丸となつて取り組みたいものです。

記 柳原潤一郎

○試合結果

(成年女子一回戦)

- 福井0/0-4/3 東京
- 先鋒 伊藤 今村
- 中堅 細川 久木山
- 大将 森 島村
- (成年男子一回戦)
- 福井5/3-3/2 静岡
- 先鋒 金子 塩谷
- 次鋒 鈴木 名越
- 中堅 畑 松井
- 副将 堀江 高田
- 大将 西川 メー 安永

(成年男子二回戦)

- 福井0/0-6/4 高知
- 先鋒 金子 中澤
- 次鋒 鈴木 西山
- 中堅 畑 中原
- 副将 堀江 小笠原
- 大将 西川 × 恒石

第10回福井県中学校 秋季新人競技大会

平成二十七年十月十六日(金)

於 敦賀市中郷体育館
平成二十七年十月十六日(金)に、平成二十七年第10回福井県中学校秋季新人競技大会が敦賀市中郷体育館にて開催されました。

男子団体

- 予選 Aリーグ
 - ①中央 ②栗野 ③清水 ④武生六
- 予選 Bリーグ
 - ①明倫 ②金津 ③小浜二 ④勝山中部
- 決勝 トーナメント二回戦(準決勝)
 - 中央○3―1△金津
 - 明倫○3―0△栗野
- 優勝 中央中学校
- 次勝 明倫中学校
- 三位 金津中学校
- 三位 栗野中学校
- 女子団体
 - 予選 Aリーグ
 - ①丸岡南 ②松陵 ③明倫 ④小浜二
 - 予選 Bリーグ
 - ①三方 ②今庄 ③森田 ④鯖江
 - 決勝 トーナメント一回戦(準決勝)
 - 丸岡南△1―3○今庄
 - 三方 ○3―0△松陵
 - 決勝
 - 今庄△1―4○三方
- 優勝 三方中学校
- 次勝 今庄中学校
- 三位 松陵中学校
- 三位 丸岡南中学校
- 全学年男子
 - 一位 田崎 健斗：松陵

- 二位 西澤 朋希：鯖江
- 三位 林 祐輝：丸岡
- 三位 富士原賢人：栗野
- 全学年女子
 - 一位 南元 優那：三方
 - 二位 奥村 莉菜：三方
 - 三位 高村 怜那：成和
 - 三位 松井 唯奈：森田
- 1 学年男子
 - 一位 岡田佳志彦：明倫
 - 二位 末本 裕也：鯖江
 - 三位 佐竹 勇飛：武生二
 - 三位 黒川 暉瑛：明道
- 1 学年女子
 - 一位 山下 真奈：武生六
 - 二位 遊津 可菜：氣比
 - 三位 竹間こころ：鯖江
 - 三位 小谷 咲恵：足羽一

第50回全日本居合道大会

平成二十七年十月十七日(土)

於 アクシオン福岡

大会前日の十六日、武生駅から福岡までJRで約五時間半、福岡市内に到着後、選手は明日の試合のために会場視察や練習、監督は、大会役員と四十七都道府県の監督が集まる監督会議に臨みました。大会役員の

方々の御挨拶と大会運営説明、質疑応答等が有り、全日本という最高峰の大会独特の緊張と大会を成功させようという熱意がおおいに感じられた会議でした。

現在の福岡はアジアの最も近い玄関口として、外国人(とりわけアジアの方々)の往来も多く、大変活気のある雰囲気を感じられました。元来、福岡は九州はもちろんの事、中国を含めた、中心地であり、また防人に代表される様に、武道の盛んな地域でもあり、活気や活発さという点では、雪国とは異質の文化を持っているものと感じられました。

大会は翌十七日の九時から開始、主催者挨拶に始まり、高段者の居並ぶ役員席を目前にし、凜とした雰囲気の中、緊張感の漂う全日本独特の雰囲気を感じられ、最後に審判長より指定技の三本が発表され大会の幕は切つて落とさせました。

大会に出場した本県選手は、各段位とも初戦敗退と、残念な結果でしたが、今大会準優勝者や三位入賞者という強豪に当たるといふ、不運も一つの要因であったと考えられます。また、各段位の初



戦の出場者を拝見すると、決して本県選手が圧倒的に見劣りするとは、感じられず、全国との差は確実に縮まっていると感じられ、これから、講習会や大会出場を経験を増やしていくことの大切さを大いに感じられた大会でした。

五段の部

角 裕幸(越前市) 0

山田 学(東京)

六段の部

松本 敏夫(越前市) 0

三宅 喬(宮崎)

七段の部

玉村 伸治(越前市) 0

西野 孝(大分)

報告者 監督

五段 高橋 滋(丹生剣連)

第28回全国健康福祉祭 やまぐち大会 剣道交流大会

平成二十七年十月十八日(土)

於 ソルトアリーナ防府(山口県防府市)

前置きで少々ねりんピックを紹介しますが、年齢が60歳以上と出場資格制限がありますが、剣道競技では、出場者のほとんどの方が六段、七段の高段者でベテラン剣士が多く、さながら高段者による高齢者準国体との感がする全国大会です。早々60

歳になった私にとって初出場できたことに感激しているところです。今年度の参加チーム数は、各都道府県、政令都市等を始め開催県3チームを含め、67チームの参加がありました。ちなみに、今年度は第28回になり、第1回は兵庫県から始まったとのこと、第11回には福井県でも開催されて、当時、福井県Aチームが優勝、Bチームが2位に輝くなど、本県の実績を残されています。

ところで、本大会の競技方法は、チームを4又は5チームごとの16ブロックに分け、リンク方法による予選リーグ戦を行い、各ブロックの1位チームが決勝トーナメント戦に進む変則的な競技方法で、予選リーグでは各チームが2試合行います。福井県チームは、第6ブロックで広島市チーム、佐賀県チーム、栃木県チームの4チームで予選リーグが行われました。リンク方法により本県チームは、栃木県、広島市チームと2試合を戦うことになり、試合結果は、福井県1ー2栃木県、福井県3ー2広島市の1勝1敗の成績で、第6ブロックの順位は、1位 栃木県 2位 福井県 3位 佐賀県 4位 広島市となり、惜しくも決勝トーナメントへの進出を逃してしまいました。

試合経過では、2試合とも気迫のこもった接戦の試合展開になり、大将戦でチームの勝敗が決する局面になり、大将の小西先生には重い重圧を生じさせてしまったことが悔やまれます。しかし、2試合とも試合内容では相手チームと互角以上の熱戦を展開した試合であったと評価しています。

3年後の平成30年には2巡目の福井国体へ向け本県剣道界でも、有望選手候補者等のレベルアップを目指し頑張っている。そういう状況下、本県チームも高齢者の全国大会で、良い成績を残し、牽引すべきと本大会までに強化遠征、強化試合を重ね、そのたびにチームの結束が増したことをチームの誰もが感じて本大会へ挑みましたが、今一步、波に乗り切れなかったのが少々残念です。

来年度は長崎県で開催されます。今年度出場した選手は、参加できません。この思いを次期県代表選手に引き継がれるよう、同世代の仲間達とともに今後も稽古に精進し、機会があればまた挑戦していきたく思います。



いと思っています。最後に、監督の猿渡先生には、山口県ご出身とあって、きめ細やかな心遣いとご配慮いただきました。また、選手でありながら強化遠征等の企画で、チームの調整役としてお世話になった柳澤先生、他、県寿康会や剣道関係者の皆様に対し、紙面上をお借りして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。(記 宮川保則)

- 出場選手・監督
- 先鋒 柳澤峰生 (福井地区)
 - 次鋒 宮川保則 (越前地区)
 - 中堅 奥井俊雄 (敦賀地区)
 - 副将 前田純夫 (坂井地区)
 - 大将 小西清光 (三方地区)
 - 監督 猿渡和義 (大飯地区)
- 試合結果
- 予選リーグ

栃木県 4 / 2	3 / 1 福井県
相澤 メメ	柳澤
文挟	メコ 宮川
鈴木 ×	奥井
石田 ×	前田
白子 メメ	小西
広島市 3 / 2	4 / 3 福井県
名越 メメ	柳澤
中田	コメ 宮川
佐々木	奥井

中村 | メ 前田
高本 | メ 小西

**総務大臣賞争奪
第14回宮本武蔵顕彰 女子剣道大会
お通報**

平成二十七年十月二十五日(日) 於 宮本武蔵顕彰武蔵武道館(岡山県)
今年も全国33都道府県2か国(中国、カナダ)より約620名の女性剣士が武蔵武道館に集まり、熱戦が繰り広げられました。

福井県チームも2チーム6名が前日の稽古会から参加させていた、たきました。

この稽古会では大会の審判をされる七段、八段の先生方や他県の選手の方々と短い時間ではありましたが、とても良い稽古をすることができました。

大会当日はまず、部門別個人戦から始まり各自がそれぞれの部門で上位目指して戦いました。

- 18〜29歳の部、玉村・初戦敗退、伊藤・3回戦敗退
- 30〜39歳の部、橋本・初戦敗退
- 40〜49歳の部、安原・初戦敗退、榑原・2回戦敗退
- 50〜59歳の部、小寺・4回戦敗退

団体戦は2チームとも1001歳以下 (ベスト8)



上の部に出場しました。
 Aチーム（先鋒・伊藤 中堅・橋本 大将・安原）
 一回戦、直心館（香川）に2―0で勝ち。
 二回戦、広島梅里D（広島）に1―1（本数）で勝ち。
 三回戦、今大会の優勝チームで部門別個人戦の2位、優勝者のいる、活人会（岡山）に0―2で敗れました。
 Bチーム（先鋒・玉村 中堅・榎原 大将・小寺）
 一回戦、和気A（岡山）に代表戦で敗れ、初戦敗退。
 Bチームは先鋒の勝ちを最後まで守りきれなかったことが敗因です。
 また、代表戦になった時でも、もっと落ち着いて判断しなければならなと思います。
 Aチームは三人のチームワークがとても良かったです。

三回戦の活人会戦で中堅の橋本選手は過去に練習試合等で対戦し、一度も勝った事がない相手に最後まで強気で攻め、必死に喰らいつき、引き分けにもっていった事は応援している側にも気持ちが伝わる、とても良い試合でした。

試合が終わり、チーム全員が会場外に集まっている所に、Aチームの活人会戦を審判してくださった、徳島県警範士八段の平野先生がお越しくださり、「今の試合での君達の所作（試合態度・礼法）がとても綺麗で素晴らしいかった、試合には負けたが君達は強い」とのお言葉をいただきました。

Aチームの三人にとって、何よりも嬉しい事でしたし、一緒にいた私達も嬉しかったです。

この大会は実業団の強豪チームや国体選抜チームが出場して来るレベルの高い大会です。

なかなか勝ち上がるには難しいですが、6人それぞれが課題を持ち帰り、また来年この大会に出場できるように、稽古に励みます。

最後に、この2日間、私達6人の為に車の運転をしていただきました、小寺選手の旦那様、本当にありがとうございました。

榎原 陽子

平成二十七年 度

福井県実業団剣道大会

平成二十七年十一月一日(日)

於 福井県立武道館

「平成二十七年 度福井県実業団剣道大会」は、十一月一日に県立武道館において開催されました。

団体戦は五人制と三人制、個人戦は今年度から、男子30歳未満の部、同30歳以上45歳未満の部、同45歳以上の部、女子の部と年齢別の四部門で行われました。計約一三〇人が参加し、熱戦を繰り広げました。

○団体A（五人制）

優勝 野村證券株

第二位 関西電力(株)原子力事業本部

第三位 福井県庁

○団体B（三人制）

優勝 野村證券株

第二位 エム・ネットワーク株

第三位 手賀造園

○個人戦 男子三十歳未満の部

優勝 森川 竜磨(株)ヤマト工芸

第二位 小堀 将年

○個人戦 男子30歳以上45歳未満の部

優勝 元井 健伍

第二位 小出 鷹太

○個人戦 男子30歳以上45歳未満の部

優勝 元井 健伍

(株)平成ポンプクリート

第二位 相模宏二郎 (有)武蔵屋

第三位 常松 隆夫 (野村證券株)

○個人戦 男子45歳以上の部

優勝 小林 憲治 (堀田商店)

第二位 角野 弘

第三位 (東洋紡(株)敦賀事業所)

片山 寛次

○個人戦 女子の部

優勝 谷口 典子

(信越化学工業(株)武生工場)

第二位 田中佐代子 (鯖江市役所)

第三位 榎原 陽子

(株)ナショナルメンテナンス

於 福井県立武道館

福井県高等学校剣道新人大会

平成二十七年十一月十四日(土)

十六日(日)

於 福井県立武道館

男子団体

優勝 敦賀高校

二位 啓新高校

三位 藤島高校

三位 高志高校



女子団体

- 優勝 敦賀高校
- 二位 北陸高校
- 三位 丸岡高校
- 三位 美方高校

男子個人

- 優勝 馬淵 稜也(敦賀)
- 二位 吉岡 竜星(北陸)
- 三位 前田 凱斗(啓新)
- 三位 田辺 祐斗(美方)



女子個人

- 優勝 齋藤 榛那(丸岡)
- 二位 吉崎 月海(北陸)
- 三位 水谷 祐美(福井)
- 三位 小林 優里(丸岡)

**第34回敦賀市長旗争奪
福井県少年剣道錬成敦賀大会**

平成二十七年十一月二十三日(月)

於 敦賀市立体育館

試合結果

優勝 福井養正館A (敦賀市)

準優勝 木田剣道スポーツ少年団 (福井市)

三位 今立剣道スポーツ少年団A (越前市)

三位 鯖江剣道スポーツ少年団A (鯖江市)

敢闘賞 越前少年剣道クラブB (丹生郡)

敢闘賞 神山剣道スポーツ少年団A (越前市)

敢闘賞 丸岡剣道スポーツ少年団A (坂井市)

敢闘賞 新風館愛宕坂道場A (福井市)



特別賞(20人抜き) 崎 元 蓮 太 (福井養正館A)

特別賞(10人抜き) 宇 野 竜 明 (今立剣道スポーツ少年団A)

特別賞(5人抜き) 萩 原 徳 紘 (福井東部少年剣道教室A)

特別賞(5人抜き) 西 山 幸 佑 (鯖江志土樹館道場A)

特別賞(5人抜き) 山 本 凌 大 (武道学園剣道教室A)

特別賞(5人抜き) 松 田 智 樹 (粟野剣道教室)

特別賞(5人抜き) 森 下 壮 志 (豊神館道場)

特別賞(5人抜き) 堀 内 謙 信 (福井少年剣道クラブA)

特別賞(5人抜き) 森 陽 輝 (鯖江剣道スポーツ少年団)

剣道審判法講習会

平成二十七年十二月六日(日)

於 福井県立武道館

全日本剣道連盟後援の「剣道審判法講習会」は、講師に範士八段 鈴木康生先生(和歌山県)をお迎えし、県内各地区から約八十名の指導者の方々が参加しました。

講義では、中国の故事「木鶏」を基にした小川忠太郎先生の「猫の妙術」というお話を題材に、「相手の心の動き『気』を打つ技」、「尽きる

ことのない気合『浩然の気』

「無心にして自然に和する

『一念不生』の心」を目標

にすること。

後半身(左手、腰、左足)を

固め、相手の

攻めに対して一歩も引かない「懸体一致」の修業をすることなどのお話を伺いました。

その後、審判規則の解説、受講者が実際に審判を行って位置取り等を学ぶ実技、地稽古と、鈴木先生の熱心なご指導をいただき、参加者一同、充実した講習会となりました。



地区連盟だより

第2回田村周山杯剣道交流大会

平成二十七年十月二十五日(日)

於 美浜町総合体育館

主催 小浜市剣道連盟

共催 美浜町剣道連盟

県内をはじめ、近畿、東海、中京地区から強豪、小・中学生剣士が集い、交流大会が行われました。県内大会では数少ない、参加チームの七割が県外チームとあって、白熱した

戦いを繰り広げました。福井県内チームも健闘し、小学生の部、福井養正館Aチームが準優勝、低学年の部、鯖江志士樹館道場Bチームが3位、中学生女子の部、福井養正館Bが3位、福井養正館Aが見事優勝に輝きました。全国大会常連の強豪チームが参加している中での優勝は、本当に素晴らしいことだと思います。

また、開会式では、美浜男性合唱団メーンコールミハマ様による、国歌斉唱や、地元特産品を販売する物産展など開催することが出来、美浜町の紹介もさせて頂く事が出来ました。携わって頂きました皆様方に感謝申し上げます。

最後に、県内各地から数多くの教室、先生方には、審判の労を執って頂きました。ご参加頂き有り難うございました。これからも魅力ある交流大会になるよう努力したいと思います。また、本年度は、美浜町をはじめ、教育委員会、体育協会様のご理解と美浜町剣道連盟のご協力



第2回 出村周山神社剣道交流大会

のもと、美浜町総合体育館に於いて開催することが出来ました。県内でも一、二を争う程の素晴らしい環境で大会が盛大に開催できましたこと感謝申し上げます。

大会結果

小学生の部 (87チーム)

優 勝：せた魂剣道部A (滋賀県)

準優勝：福井養正館A (福井県)

三 位：滋賀自求館道場A (滋賀県)

三 位：京都清練会 (京都府)

小学生低学年の部 (15チーム)

優 勝：京都久御山真武館B (京都府)

準優勝：緑苑剣道少年団C (岐阜県)

三 位：鯖江志士樹館道場B (福井県)

三 位：一剣A (岐阜県)

中学生男子の部 (47チーム)

優 勝：彦根城南剣道部A (滋賀県)

準優勝：京都弘道館A (京都府)

三 位：旺武道場 (三重県)

三 位：京都久御山真武館 (京都府)

中学生女子の部 (30チーム)

優 勝：福井養正館A (福井県)

準優勝：東レ居敬堂 (愛知県)

三 位：尚道館 (静岡県)

三 位：福井養正館B (福井県)

(小浜市剣道連盟理事長 新谷勝利 記)

みんなの広場

剣道部

クラブ紹介

し、役員は以下の通りです。

顧問 福野平吉

会長 古川清澄

副会長 帰山正信

金森三喜夫

理事長 佐々木浩二

事務局 福田浩之

安川聡浩

◎ 主な年間行事

・寒稽古 (昭和二十九年一月の第一回から毎年)

・級審査 (年二回 実施)

・奥越剣道錬成大会 (毎年三月)

・福井県少年剣道錬成大会 (毎年七月)

・県民スポーツ祭 (毎年八月)

・奥越剣道大会 (おおの城まつり 毎年八月)

・少年剣道武生大会 (毎年八月)

・福井県剣道大会 (毎年九月)

・大野市民剣道大会 (毎年十一月)

◎ 稽古

・大野市エキサイト広場 剣道場で 毎週 火・金曜日の午後七時より

・合同稽古会 大野市エキサイト広場 剣道場で 毎月第三日曜日の 午前九時より

大野地区剣道連盟

大野地区剣道連盟の発端は、戦前より大野町にあった大野振武会の剣道部です。

昭和二十八年に福井県剣道連盟に加盟し、(福井県剣道連盟 大野支部) 大野剣道会として独立しました。

昭和二十八年十一月に第一回福井県剣道大会が藤島高校で開催され参加大野選手団の活躍ぶりが語り草となっています。なお、発足当初の級審査の証は、福井県剣道連盟初代会長の

高波武右衛門先生のものでした。その後、歴代の役員をはじめ会員の努力により、今日の大野地区剣道連盟があります。

平成三年六月に大野市エキサイト広場総合体育施設が完成。武道館剣道場の落成を記念して落成記念剣道大会を開催しました。現在は、本道場を拠点に活動をしています。

平成十五年八月には大野地区剣道連盟発足五十年を迎え、五十周年記念と第三十六回おおの城まつり剣道大会を同時に開催しました。

現在一般の会員は二十七名が所属

現在一般の会員は二十七名が所属

・少年剣道 大野市陽明町2-1020
金森三喜夫

TEL〇七七九-六五-三二一五九
事務局所在地 大野市中保2-8-1

福田 浩之

TEL〇七七九-六五-六九一三

大野盆地の大野市は水のおいしい静かな城下町です。

毎年大野の寒稽古は、雪の降るなか、寒さに負けないぞ「ヤー」「メーン」「ドー」元氣あふれる掛け声とともに始まります。「身体とともに心を鍛える」大人になっても剣道を生活に活かされるよう、会員一同、子ども達とともに稽古に励んでいます。後、数年でおおの城まつり剣道大会(現、奥越剣道大会)も五十回を迎えようとしております。会員はもちろんのこと未来を引き継ぐ少年剣道教室の剣士も日々稽古に励んでおります。また、福井県剣道連盟の先生方にもご指導いただけますよう、よろしくお願いいたします。

清水中学校男女剣道部

清水中学校剣道部は、広い剣道場を持ち、恵まれた環境のもと、活動を行っています。この部活動の最大の特徴は、部員全員が先輩、後輩関係なく仲が良いところです。稽古後

の休憩時間には、全員が輪になって談笑する姿は、他の部にはないのではないのでしょうか。

しかし、稽古に入ると一変します。ピンと張り詰めた空気にかわり、気合いの声が響き渡ります。男女キャプテンが様々なアイデアを出しバリエーションを変えた稽古を行っています。やらされる稽古ではなく、今何にかけているか考えた積極的な稽古こそが清水中学校の真骨頂ではないでしょうか。今後、来春の大会に向けて、よりいっそう精進していきます。

男子キャプテン 水野 敬太

僕たち男子剣道部は、1年生9名、2年生5名の計14名で活動しています。毎日の練習では、基本打ちを中心に行っています。試合前には一本勝負や試合を取り入れ、実践に近い練習をしています。

秋季新人強化大会では、地区で優勝することができました。しかしながら、県大会では弱気になってしまいました、チームが勝ち進むことができませんでした。今後は自分たちの弱さと向き合い、メンタル面の強化にも取り組んでいきたいです。次の春季大会でも優勝することを目標に冬の稽古に励みたいのです。

女子キャプテン 倉倉 菜摘

私たち女子剣道部は、2年生7名で日々の稽古に取り組んでいます。

今年の秋の新人大会では福井地区3位の結果を残せました。中学校から剣道を始めた人がほとんどですが、お互いに励ましながらがんばってききました。その結果が地区3位になって大変うれしかったです。

部活動では、男子と合同で練習し清水中学校一丸となって励んでいます。私たちの目標は県大会の出場です。これから寒い時期になっていきますが、寒さに負けず更に力を向上していきたいと思っています。



福井農林高等学校剣道部

「感謝と思いやりを忘れず」

剣道部に入部してくる生徒は、中学校での経験者はわずかにいるものの、多くは高校からの者が多い。入学を機に、高校では何か新しいことをやりたい。そういう強い願いを持って本校武道場へやってくる。このような現状ではあるが、何かを始めた一心で剣道を始めようと思った生徒たちであり、これまでたくさん挫折感や絶望感を味わったこともあるだろう。全体の練習後、経験者が居残りで教えてくれている。顧問から指示したわけではないのだが、何年も前から続いている。「剣道というスポーツをする前に、高校生として毎日あたりまえに登校できることに感謝しよう。家族の支えがあつて



今の自分がいる事を見つめ直し感謝しよう」ここへ来る人間はクラスや学年を越えて集まった同じ志を持つ人間の集まり。だからこそ気配りや思いやりを忘れず毎日練習している。これからも部員一人ひとりが感謝と思いを忘れず精進していきたい。

剣道部顧問 鈿内 倫夫

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十七年八月九日(日)
於 敦賀市中郷体育館

「初段」 六十一名

- 駒 正 晴 (中央中一年)
- 末 本 裕 也 (鯖江中一年)
- 清水 陽 飛 (大東中一年)
- 田 邊 卓 士 (美浜中二年)
- 浅 妻 智 樹 (美浜中二年)
- 土 本 真 聖 (栗野中二年)
- 高 橋 尚 生 (小浜中二年)
- 富士原 賢 人 (栗野中二年)
- 木 村 広 規 (坂井中二年)
- 山 本 宗 希 (清水中二年)
- 千 田 智 大 (三方中二年)
- 萩 原 綸 太郎 (角鹿中三年)

- 小林 達 明 (南越中三年)
- 志 賀 港 龍 (角鹿中三年)
- 齋 藤 椋 輔 (春江中三年)
- 中 西 昭 太 (角鹿中三年)
- 松 本 健 太 (朝日中三年)
- 木 野 慎 悟 (警察官)
- 石 原 佑 馬 (警察官)
- 乙 部 博 之 (警察官)
- 河 上 大 地 (警察官)
- 新 谷 太 康 (警察官)
- 川 崎 雅 人 (警察官)
- 田 邊 優 文 (警察官)
- 松 浦 宏 紀 (警察官)
- 猫 宮 心 平 (警察官)
- 松 村 顕 広 (警察官)
- 山 崎 志 苑 (警察官)
- 松 浦 志 遼 (警察官)
- 小 林 祐 治 (警察官)
- 林 英 治 (警察官)
- 女 木 健 司 (警察官)
- 笠 嶋 健 一 (警察官)
- 斎 藤 基 生 (警察官)
- 中 田 栄 治 (警察官)
- 岸 本 拓 也 (警察官)
- 井 上 翔 也 (警察官)
- 塚 倉 孝 行 (警察官)
- 齋 藤 明 良 (警察官)
- 壺 谷 友 規 (警察官)
- 布 川 智 之 (警察官)
- 竹 間 智 之 (鯖江中一年)
- 長 谷 れ もん (三方中二年)
- 肴 倉 菜 摘 (清水中二年)

「貳段」 十八名

- 崎 山 依 織 里 (高浜中二年)
- 村 田 千 夏 (丸岡南中二年)
- 五十嵐 日向子 (丸岡南中二年)
- 森 下 夏 帆 (三方中二年)
- 安 達 稀 海 (角鹿中二年)
- 江 村 梨 紗 子 (角鹿中三年)
- 奥 村 莉 菜 (三方中二年)
- 浅 海 二 千 花 (角鹿中三年)
- 杉 田 光 瑠 (中央中三年)
- 中 溝 琉 伽 (角鹿中三年)
- 石 丸 七 夕 佳 (美浜中三年)
- 山 崎 祐 香 (敦賀気比高年)
- 稲 田 葉 月 (敦賀気比高年)
- 長 岡 美 総 (警察官)
- 五十嵐 千 織 (警察官)
- 幸 道 咲 希 (警察官)
- 棟 朝 瑠 衣 (警察官)
- 布 谷 優 星 (三国中二年)
- 竹 原 功 貴 (勝山中部中二年)
- 志 尾 陽 章 (三国中二年)
- 青 木 暉 輝 (大東中三年)
- 田 辺 政 伸 (三方中三年)
- 道 勇 秀 哉 (栗野中三年)
- 加 藤 拓 也 (明倫中三年)
- 井 村 颯 (敦賀気比高年)
- 荒 崎 了 了 子 (敦賀気比高年)
- 市 原 一 輝 (敦賀気比高年)
- 松 川 昌 平 (啓新高三年)
- 高 倉 良 輔 (警察官)
- 白 数 竜 也 (警察官)

「参段」 十四名

- 川 島 明 美 (三方中三年)
- 山 口 愛 加 (美浜中三年)
- 松 浦 亜 佑 美 (福井商高一年)
- 小 永 新 奈 (羽水高一年)
- 加 藤 菜 摘 (福井商高一年)

「四段」 三名

- 山 崎 由 樹 (警察官)
- 森 川 竜 磨 (会社員)
- 小 谷 佳 己 (警察官)

「五段」 一名

- 吉 村 光 平 (警察官)

ペンリ

女性剣士の部屋



長澤 いづみ

私が剣道と出会ったのは、中学一年生の春でした。体験入部に参加し、素振りをしてみて、純に「楽しい！」と感じたことがきっかけで、ほとんど迷わずに入部しました。どちらかというと運動は苦手で、習い事らしくに続いたことがなかった私。今考えてみると、そんな自分を変えたい、という思いがどこかにあったのではと思います。

中学校では、剣道を通じて自分が変わっていく、心も体も強く成長していくのが嬉しくて、ただ無我夢中で練習していました。高校では厳しい稽古も増え、試合になると勝ち負けを気にしてしまい、緊張のあまり平常心で戦えない弱い自分も表れはじめました。「自分で自分を信じてやらなきゃ、誰もお前を信じてやれない。」と先生に喝を入れていただいたことを、今でも覚えています。

そして、ひとつの大きな転機となったのが大学での剣道でした。下級生のころは、チャレンジャー精神で先輩に思い切つて懸かっ ていくことができ、プレッシャーを感じず伸び伸びと剣道をする ことができました。しかし、上級生になると「しつかりやらない と」という焦りから空回りし、全く勝てない時期が長く続きました。主将でありながらチームに何も貢献できない自分が嫌で仕方 なく、四回生の時には、剣道をやめたいと初めて思いました。

結局、どこか宙ぶらりんのまま社会人となり、中学校教員として赴任した敦賀の地で、連盟の皆様の声をかけていただきました。器用な技ができない自分でしたが、「お前はそれでいいんだ。」と 言っていたいただき、少しずつ自分のやってきたことに自信が持てる ようになりました。また、まだ未熟で、稽古をしていて情けなく涙が出ることもあり、それでも、やはり剣道を続けていきたい と思えるのは、剣道が私にとってまぎれもない自己実現の場であるから。そして、剣道を通じて出会えた素晴らしい仲間がいる からです。自分の弱さと強さを教えてくれた剣道と、こんな私を支えてくださる方々に心から感謝しています。「剣心一如」、これ からも自分と向き合っていきたいと思えます。

平成28年1月～3月 事業計画

期	日	曜日	事業名	場所	開催者	備考
1	10 17 23 24	日 日 土 日	剣道・居合道初稽古 福井県剣道大会(高校生)兼高校冬季選手権大会兼全国選抜大会予選会 県中学校剣道冬季強化大会 全国都道府県大会県選考会	県武道館 県武道館 敦賀市 県武道館	県剣連 県高体連 県中体連 県剣連	14:00～(半日) 敦賀市立体育館 9:30～
2	6～7 7 14 21 21 28	土～日 日 日 日 日 日	北信越高校剣道新人大会 第10回福井県ジュニア育成強化剣道大会 剣道段位審査会 国体指定選手選考会 居合道合同稽古会 全国都道府県大会県選考会	富山県 県武道館 越前市 県武道館 越前市 警察学校	北信越高体連 県剣連 県剣連 県剣連 県剣連 県剣連	庄川体育センター 9:00～ 9:30～
3	5～6 11 13 20 20 27～28	土～日 金 日 日 日 日～月	学剣連指導者講習会 理事会 審査員講習会 評議員会 第7回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会・合同稽古会 第25回全国高校剣道選抜大会 第38回全国スポーツ少年団剣道交流大会	県武道館 県武道館 県武道館 県武道館 県武道館 春日井市	全学剣連 県剣連 県剣連 県剣連 県剣連 全剣連	教職員対象 19:00～ 13:00～

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616